

説明資料

【議事③】 その他

大津町の健康実態は？

国保医療や特定健診結果からわかること

健康保険課 健康推進係

健康状態が最も損なわれた状態が「死亡」です。

大津町の平均寿命は??

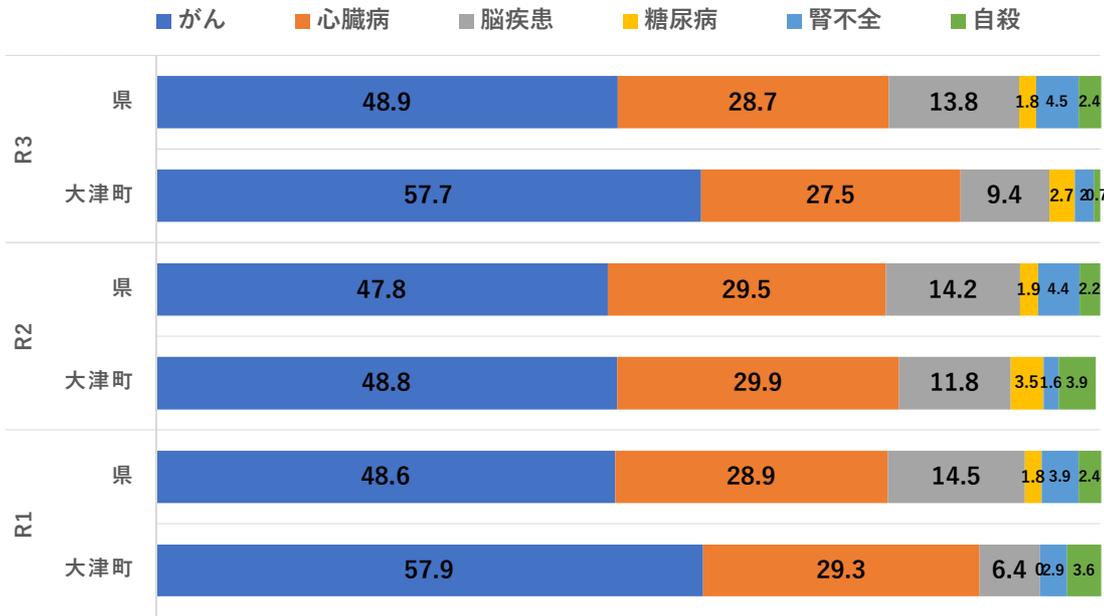
令和3年 **男性 81.8歳 女性 87.8歳**
(熊本県 男性81.2 女性87.5) KDBシステムより

県と比べると大津町民は若干長生き

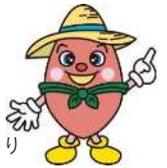


どのような病気で亡くなる人が多いの？

大津町の死因（％）



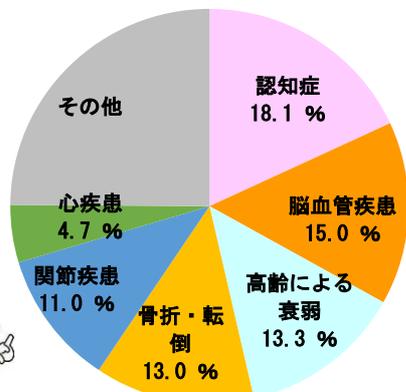
県と比較して
 ・がん、糖尿病、自殺で亡くなる人が多い
 ・心臓病、腎不全で亡くなる人は少ない



KDBシステムより

介護が必要になった人の原因は？

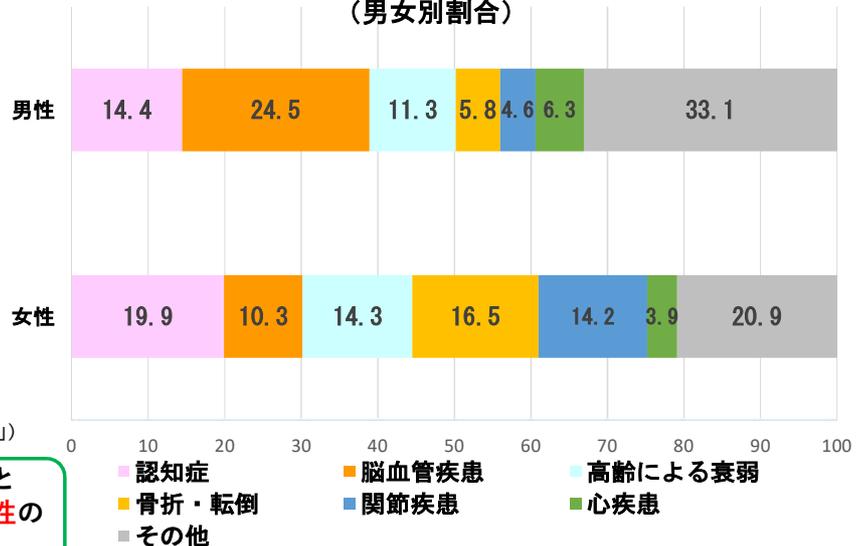
65歳以上の介護が必要になった主な要因



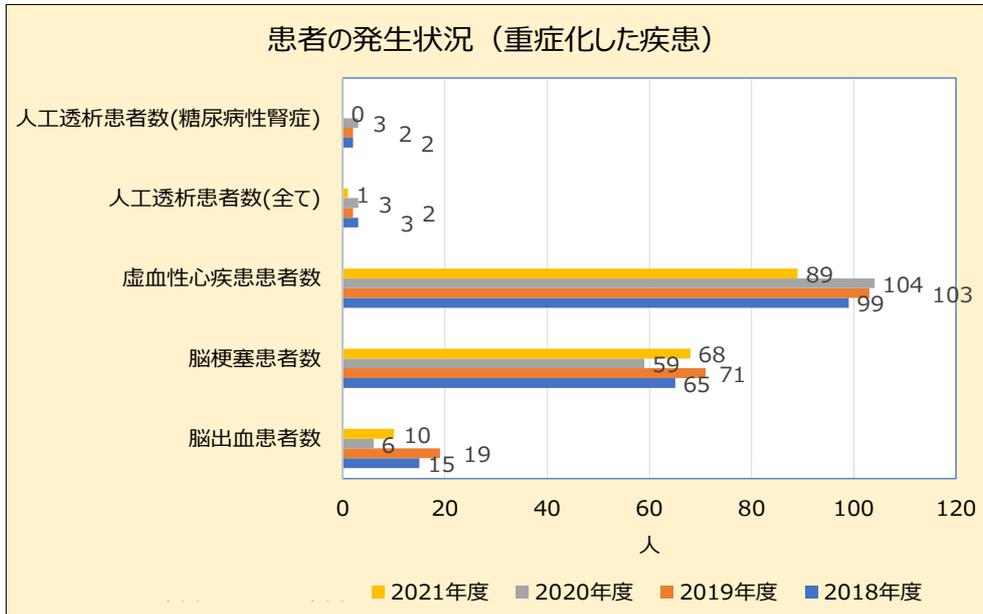
(内閣府「令和4年版高齢社会白書」)

認知症が最も多く、次いで脳血管疾患となっており、脳血管疾患は女性より男性の割合が高くなっています。

65歳以上の介護が必要になった主な要因（男女別割合）



大津町の死亡や介護につながる病気の患者はどれくらいいるの？



KDHシステムより

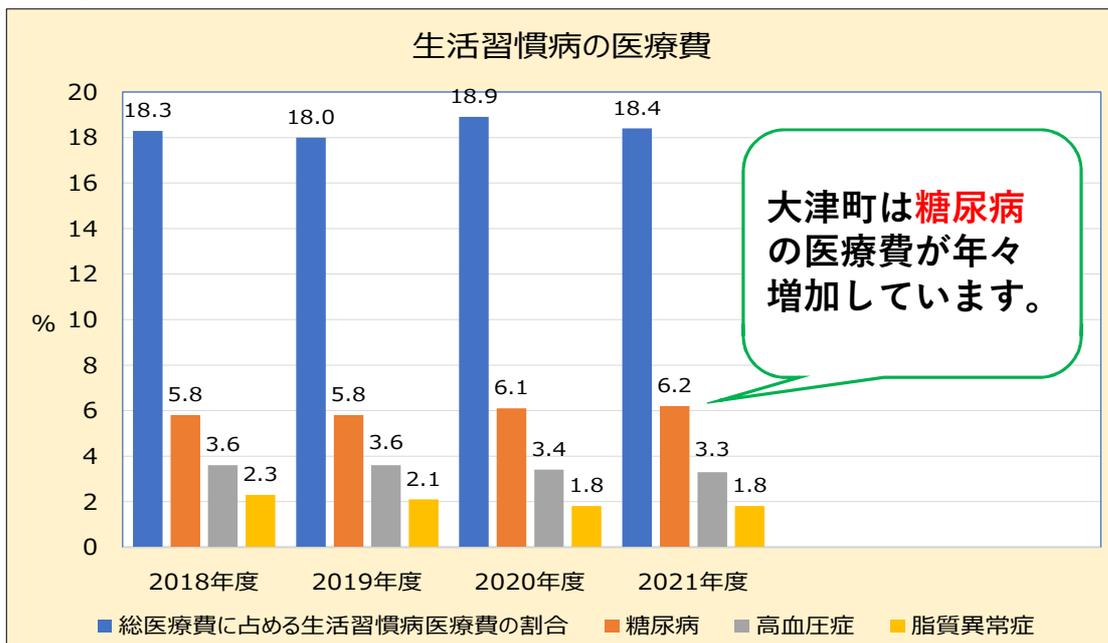
死亡や要介護の原因となる人工透析や虚血性心疾患、脳出血は**生活習慣病が重症化した**ものです。治療費も**高額**となります。

【医療費】

- ・人工透析**600万円/年**
 - ・心臓バイパス術**432万円/回**
 - ・脳梗塞**55万円/回**
 - ・脳出血**153万円/回**
- ※リハビリに係る長期入院6カ月で**700万円以上**



生活習慣病で治療費は医療費のどれだけを占めているの？



大津町は**糖尿病**の医療費が年々増加しています。

KDHシステムより

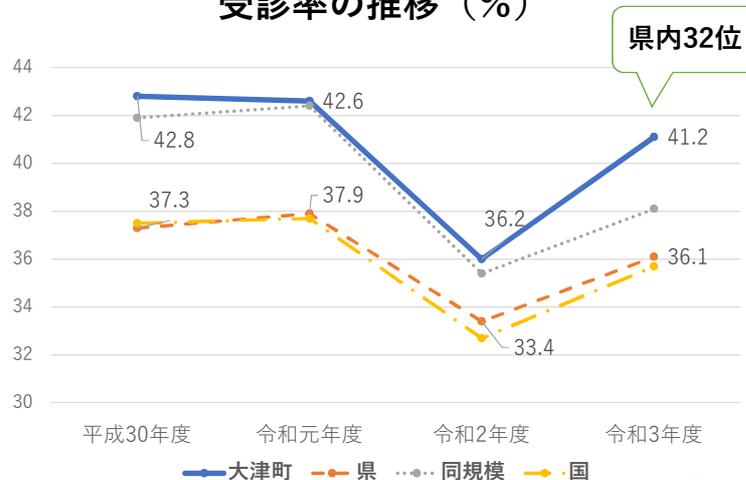
どのくらいの人が健診を受けているの？

特定健診受診率の推移（％）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大津町	42.8	42.6	36.2	41.2
県	37.3	37.9	33.4	36.1
同規模	41.9	42.4	35.4	38.1
国	37.5	37.7	32.7	35.7

KDBシステムより

受診率の推移（％）



県内32位

受診率は県や同規模市町村より若干高いです。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で受診率が減少しましたが、令和3年度には増加しました。生活習慣病の初期は自覚症状がないので、健診を受けないと自分の身体の状態がわかりません。多くの人が健診を受けて、重症化する前に早めに対処する必要があります！！



どの年代が特定健診を受けているの？

令和3年度

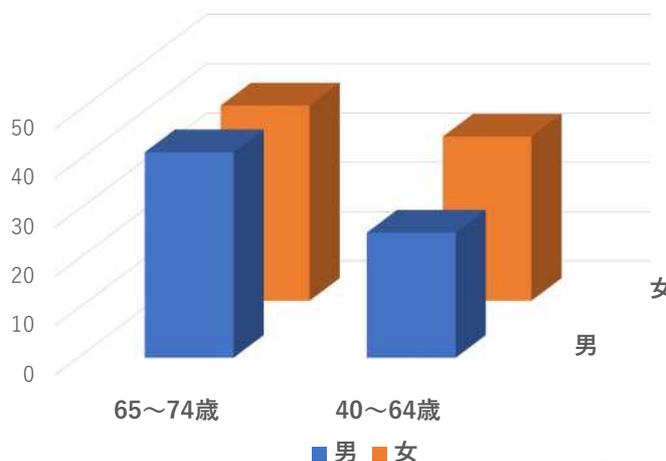
大津町特定健診受診率（％）

	男	女
65～74歳	46.7	44.5
40～64歳	29.9	38.5

40～64歳男性の受診率が低くなっています。

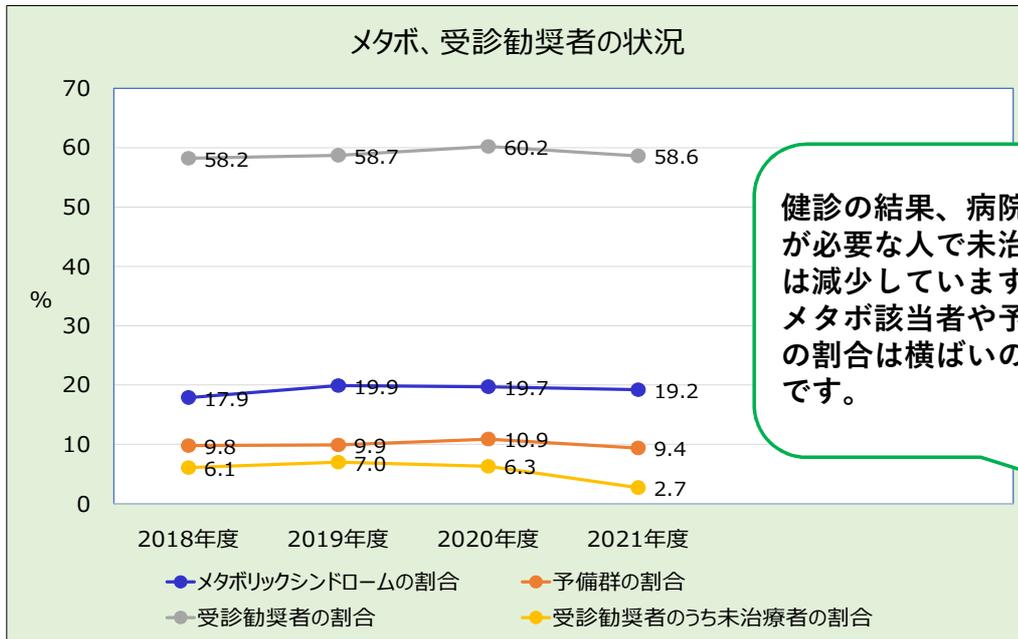


令和3年度大津町特定健診受診率



KDBシステムより

大津町の健診の結果、メタボや受診勧奨者の割合は怎なの？



健診の結果、病院受診が必要な人で未治療者は減少していますが、メタボ該当者や予備群の割合は横ばいの状態です。



KDHシステムより

大津町は肥満・高血糖の人が多いい？？？

令和3年度大津町特定健診有所見率 (%)

	町	県	同規模	国
腹囲	31.8	36.4	35.6	35.2
BMI	6.0	4.7	5.1	4.9
血糖	0.8	0.7	0.7	0.7
血圧	7.2	8.8	8.1	8.1
脂質	1.4	2.5	2.5	2.7
血糖・血圧	3.7	3.6	3.3	3.0
血糖・脂質	0.6	1.0	1.0	1.0
血圧・脂質	8.4	9.5	9.6	9.7
血糖・血圧・脂質	6.5	6.8	7.0	6.6

特定健診の有所見率を県などと比較しました。BMIが県などと比較すると高く、**肥満度が高い人が多い**ことがわかりました。また、**血糖が高い人、血糖と血圧を併せ持つ人も**県などより若干多いようです。



KDBシステムより

大津町の生活習慣は？

特定健診問診	大津町	同規模
20歳時体重から10Kg以上増加	36.1	35.4
1回30分以上の運動習慣なし	59.1	59.8
咀嚼 かみにくい	25.6	21.3
3食以外の間食や甘い飲み物 毎日	15.6	21.0
週3回以上朝食を抜く	9.0	8.2
飲酒 毎日	15.6	21.0
睡眠不足	23.3	23.7
生活習慣改善に意欲あり	28.5	27.5

KDBシステムより

今年度から取り組んでいること

課題1 健診を受けないと生活習慣病の発見が遅くなる

多くの国保の人に健診を受けてもらいたい！

- ・インターネットの申込開始
- ・40代・50代の若い年代への受診勧奨
- ・見やすいチラシや封筒の作成
- ・広報やチラシで健診の大切さをPR

⇒がん複合健診（特定健診・後期健診）
申し込み者約200人増！



課題2 健康づくりに関心が薄い人たちもいる

- ・気軽に健康づくりに取り組めるように「熊本健康アプリ」を導入
健診受診や毎日の歩数、健康チェックなどでポイントが貯まり、楽しみながら健康づくりができます！
⇒ **健康アプリ登録者 1,181人**
- ・地域活性化起業人制度で民間企業より健康アドバイザーを派遣。民間のノウハウを活用して新たな健康づくり事業を展開します。

これまでの取り組みも継続します

- ・町保健師・管理栄養士の重症化予防訪問指導。生活習慣病の重症化予防のために、受診勧奨や保健・栄養指導を行います。
- ・特定保健指導 メタボ等で生活習慣の改善が必要な人に保健指導を行います。